

## 「分別区分の変更」という名の

## サーマルリサイクルのモデル実施は問題あり

7月より「分別区分の変更のモデル実施」という名の、新たな清掃事業の大転換が始まりました。10月には、7月のモデル実施の3倍に拡大されます。20年度には、全区に展開となる予定です。

7月からのモデル実施の現状について、モデル区域担当の組合員の声・住民の声を聞いてみました。

### 現場の声

- ① 仕事だからやれといわれれば、やらざるを得ない。
- ② なにもかも、一緒に出されている。
- ③ 住民の理解も少しずつひろがってきているようだが、ペットボトルと新不燃の隔週の収集は、混乱している。ペットボトルの収集の日に新不燃が出されたり、新不燃の日にペットボトルが出されている。シールを貼って指導しても、守れない人がいる。
- ④ ペットボトル・トレイなど、廃ブラの収集をまずやるべきであって、燃やすのは、最後の手段とするべきだ。
- ⑤ 管理人がしっかりしているマンションは、ルールが守られているが、一緒にゴチャマセ<sup>®</sup>に出してしまう地域の住民の指導は、おおきな問題だ。
- ⑥ 住民指導用の「取り残しシール」は、わかりにくい。

### 住民の声

☆ 世田谷通りの飲食店に聞いてみました。

- ① こんなプラスチックのごみも燃やせるのは便利なんだろうけれども、大

丈夫なんだろうか？ 公害でないの？

- ② ペットボトル収集の日と、新不燃の日が、隔週のため、いつも困っている。曜日を決めて、毎週集めてくれれば助かる。

☆ サーマルモデル以外のマンションの管理人の声

ペットボトルのシールをはがして水洗いしてあるペットボトルが、90L袋で毎週7袋くらいたまる。

毎週、こんなに大量にペットボトルを不燃ごみにしてしまうのはもったいない。目の前のコンビニへ持って行ってくださいと要請したら、コンビニは受け取りを拒否してしまう。やむなく不燃ごみに出している。

- ★ モデル区域以外のペットボトルの現状は、コンビニなどの拠点回収ですが、コンビニに持ち込まれるペットボトルは、汚い・洗っていない・残渣が多くです。
- ★ 今ペットボトルは、新可燃や新不燃、および不燃の日に大量に出ています。ペットボトルは、「資源」として毎週、集積所回収を行い落ち着き先をきめてやらねば、「みなしごペット」となりかねません。
- ★ インタビューを通じて感じたことは、清掃事業の大転換に対して、住民の理解と協力を十分に得ないまま、強引に区長会できめたこととおしすすめる、世田谷区としての行政の姿勢、大きな問題があることです。

廃プラ回収をやった上でサーマルを行う

杉並支部との交流会を行いますー9/8

世田谷は、廃プラスチックも（トレー・ペットを除いて）新可燃としてサーマル焼却してしまっていますが、杉並・中野は廃プラの回収をやった上でサーマルを行います。19年度のモデル実施で廃プラの回収を始める区もいくつか出てきています。そこで廃プラの回収をすでにやっている杉並のサーマルの現状と問題点などが知りたいため交流会を行うことになりました。

☆ 日時：9月8日（土）5時半～

☆ 場所：飯田橋SKプラザ 5F 中会議室

……興味があって参加したい方は、森（本所）・郡司（分室）まで